

平成27年度秋期 災害対策専門研修

アドバンスト／防災監・危機管理監コース

主担当：主任研究員 高田 洋介

10月19日(月)	10月20日(火)
	(9:30～11:00) 90分 「行政対応特論②」 齋藤 富雄 兵庫県国際交流協会理事長(元 兵庫県防災監) 県における大規模災害時の対応事例を知り、災害発生後の対応や課題と首長に助言すべき内容を学ぶ。講義は討論形式で行う。
(10:40～11:00) 開講式 (11:00～12:00) オリエンテーション 高田 洋介 人と防災未来センター 主任研究員	(11:15～12:30) 75分 「災害対応特論」 室崎 益輝 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 副理事長 災害の状況に応じて既存法制度の限界部分、対応策についての指示、判断ができるようになるための考え方を深める。講義は討論形式で行う。
休憩	
(13:00～14:30) 90分 「行政対応特論①」 鬼頭 哲也 丹波市 副市長 市町村における災害対応事例から課題や教訓を学ぶ	(13:30～16:00) 150分 (途中休憩あり) 「災害対応検討ワークショップ」 演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける 室崎 益輝 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 副理事長 高田 洋介 人と防災未来センター 主任研究員
(14:45～15:30) 45分 「目標管理型災害対応論」 高田 洋介 人と防災未来センター 主任研究員 目標管理型災害対応の考え方やその具体的な内容について、過去の災害事例を踏まえ理解する。	
(15:45～17:15) 90分 「危機対応組織論」 河田 晃昭 人と防災未来センター センター長 危機対応をする上で首長を補佐する職にある人が必要とする能力について理解する。	(16:00～16:15) レポートタイム (16:15～16:30) 閉講式
(17:15～17:30) レポートタイム	

# 平成27年度秋期 災害対策専門研修

マネジメントコース:エキスパートA

主担当:研究員 坪井 塑太郎

		10月6日(火)	10月7日(水)	10月8日(木)	10月9日(金)
09時30分 — 10時45分	1限	(センター展示見学:希望者のみ)	<b>市民社会ワークショップ</b> 立木 茂雄 人と防災未来センター上級研究員 (同志社大学社会学部 教授) 山本 康史 ハローボランティア・ネットワークみえ代表 平野 昌 ハローボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボランティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政との関係のあり方にについて理解を深める	<b>危機対応時の組織論(情報システム)</b> 宇田川 真之 人と防災未来センター 研究主幹 ・災害発生前後の情報の収集・整理と共有化の重要性を理解し、情報システム(GISなど)の活用方策を学ぶ	<b>災害対応ワークショップ</b> 坪井 塑太郎 人と防災未来センター研究員 ・演習を通じて目標管理型災害対応の考え方を身につける
11時00分 — 12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 <u>11:00～12:15 オリエンテーション</u> 坪井 塑太郎 人と防災未来センター研究員		<b>災害対応概論(復旧・復興期)</b> 越山 健治 人と防災未来センターリサーチフェロー (関西大学 社会安全学部 准教授) ・復旧・復興期の対応と課題について学ぶ	
13時15分 — 14時30分	3限	<b>災害対応各論(災害時の物流対応)</b> 興村 徹 (株)日通総合研究所 取締役 教育コンサルティング部長 ・災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ	<b>災害対応演習(クマ演習)</b> 菅野 拓 人と防災未来センター研究員 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ	<b>災害対応各論(医療活動)</b> 甲斐 達朗 人と防災未来センター上級研究員 (済生会千里病院 千里救命救急センター) ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	<b>災害対応各論(被災者救援の実践的取り組み)</b> 三上 晴由貴 (新潟県福祉保健部医務薬事課副参事(地域医療係長)) ・災害救助法適用事例から災害救助法の理解を深める
14時45分 — 16時00分	4限	<b>災害対応概論(初動期)</b> 高田 洋介 人と防災未来センター主任研究員 古越 武彦 人と防災未来センターリサーチフェロー (長野県危機管理部危機管理防災課危機管理係担当係長) ・初動対応時の対応と課題について理解を深める	<b>災害対応各論(広域連携)</b> 阪本 真由美 人と防災未来センターリサーチフェロー (名古屋大学 減災連携研究センター 特任准教授) ・災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める	<b>災害と男女共同参画</b> 浅野 幸子 大学非常勤講師 早稲田大学「地域社会と危機管理研究所」招聘研究員 減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表 ・災害における男女共同参画の視	<b>全体振りかえり ワークショップ</b> 坪井 塑太郎 人と防災未来センター研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分 — 17時30分	5限	<b>災害対応概論(応急期)</b> 古本 尚樹 人と防災未来センター主任研究員 古越 武彦 人と防災未来センターリサーチフェロー (長野県危機管理部危機管理防災課危機管理係担当係長) ・応急対応期の対応と課題について理解を深める	<b>危機対応各論(行政と自衛隊との連携)</b> 越野 修三 岩手大学 地域防災研究センター教授 ・行政と自衛隊の連携について理解を深める	<b>危機対応時の組織論(戦略的な広報について)</b> 安富 信 人と防災未来センターリサーチフェロー (神戸学院大学 現代社会学部社会防災学科 教授) 川西 勝 人と防災未来センターリサーチフェロー (読売新聞大阪本社 編集委員) ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分 — 17時45分	—	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	

平成27年度秋期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:エキスパートB

主担当: 研究員 荒木 裕子

		10月13日(火)	10月14日(水)	10月15日(木)	10月16日(金)
09時30分～10時45分	1限		災害時のこころのケア 大澤 智子 兵庫県こころのケアセンター 研究主幹 ・災害発生初動期の被災者に対する接し方及び 災害対応業務を行うまでのマインドケアについて	災害時要援護者への対応 立木 茂雄 人と防災未来センター上級研究員 (同志社大学 社会学部教授) ・災害時要援護者の実態とそれを踏まえた対応について学ぶ	
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 荒木 裕子 人と防災未来センター研究員	標準的な災害対応システム論 牧 紀男 人と防災未来センター震災資料研究主幹(京都大学防災研究所教授) ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について学ぶ	都市巨大災害論 河田 晃昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する	災害対策本部の空間構成設計演習 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト取締役 マネージャー・主席コンサルタント ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する
13時15分～14時30分	3限	災害情報の受発信手法 木戸 崇之 人と防災未来センターリサーチフェロー (朝日放送報道局ニュース情報センター 記者) ・被害情報の受信(収集)と発信(広報)およびこれらを総合した情報共有のあり方について学ぶ	業務継続計画論 紅谷 昇平 人と防災未来センターリサーチフェロー (神戸大学 社会科学系教育研究府特命准教授) ・各公共機関におけるBCPの意味と重要性について、また、その導入について、具体的な事例を交えて理解する	NGO/NPOの災害対応と協働 明城 徹也 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)事務局長 菅野 拓 人と防災未来センター研究員 ・NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ	被災者行政の流れと課題 田中 聰 常葉大学大学院環境防災研究科教授 ・被災者の生活再建に向けた初期段階の行政業務の一連の流れや被害認定について学ぶ
14時45分～16時00分	4限	防災・減災の普及啓発 後藤 武志 飯田市危機管理室防災係長 鈴木 智久 仙台市危機管理室防災計画課主査 先進自治体の地域に向けての防災・減災活動について学び、地域への発信についての示唆を得る	災害時の健康危機管理 高田 洋介 人と防災未来センター主任研究員 ・被災住民の健康危機に対する行政の支援について理解を深める	ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 矢守 克也 人と防災未来センター上級研究員(京都大学防災研究所巨大災害研究センター・教授・センター長) ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	全体振りかえりワークショップ 荒木 裕子 人と防災未来センター研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限	災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 兵庫県国際交流協会理事長 (元兵庫県防災監) ・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める	避難の実態と課題 宇田川 真之 人と防災未来センター研究主幹 ・災害種別ごとに異なる避難行動のタイミングと避難が困難な要援護者への対応について学ぶ		16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	—	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	